

H002	地域公共人材特別講座（新PBL入門）		
英名科目名	Special Lecture for Local Public Human Resources(Invitation to PBL)		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	只友 景士		
開講期間			
開講形態	通年	開講曜日・講時	
単位数	4	履修年次	1年次以上
会場	キャンパスプラザ京都、他		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	平常点（50％）：出席状況、レポート、リアクションペーパー等の提出物等授業へ臨む態度等で評価します。 その他（50％）：フィールドワーク・グループワークの貢献度、成果で評価します。 ＊出席による加点はないが、欠席1回につき3点を減じる。 ＊就職活動、部活動等に関する特例措置はとらない。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円（単位互換履修生は不要）		
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 京都キャンパスプラザ、他 【授業時間外における予・復習等の指示】 特に夏休みにグループワーク、フィールドワーク「いなか留学」に時間をとることになるため、その前提を了解のうえ、志望すること。受講生数が制限されているので、途中での辞退は原則として認められない。 【履修上の注意・担当者からの一言】 地域活動に興味のあるみなさんにおすすめの講義です。とりわけ、1回生にとっては、格好の「地域デビュー」科目となります。大学生として、理論と実践の両方を学ぶことで、地域社会で活躍する地域公共人材として必要な能力を身につけましょう。フィールドワーク（「いなか留学」プログラム）には参加費が必要です。 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、都市型地域体験（京都市伏見区）と農村型地域体験の時間構成が変わることがあります。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	【講義概要】 地方都市は、少子高齢化、産業の衰退、地域文化の衰退など様々な課題を抱えている。そうした地域課題は、日本全国どこにでもある普遍的問題であるとともに、地域ごとに独自の背景もあるため、その現れ方は多様である。本講義は、そうした地域課題の普遍性と多様性を知り、地域課題の解決にあたれる地域公共人材を養成する入門的な科目として開講するものである。 地域課題の解決プロセスをPBL（Problem Based Learning）とよばれる課題解決型の学習方法で学ぶ。課題解決の解決プロセスを体験的に学ぶために、都市型地域体験（京都市伏見区）と農村型地域体験（対象地区調整中）の二つのモデル地区を対象としてフィールドワークを行う。 フィールドワークの具体的内容は、都市型地域体験（京都市伏見区）と農村型地域体験の二つを行う。都市型地域体験（京都市伏見区）では、「深草／稲荷まちあるきマップ」を素材とした「深草・稲荷まちあるき」体験と「ディスカバー深草」の地域調査などを行う		

<p>伏見区深草を知ることを通じて、大学のまち京都の歴史の一端を学ぶ。農村型地域体験では、「いなか留学」プログラムによる実習を行う。「いなか留学」とは、農山村をフィールドにして、農林業、観光、伝統産業、コミュニティづくりの活動などのテーマを持ったプログラムを実施するものである。</p> <p>こうした「深草・稲荷まちあるき」体験と「ディスカバー深草」の地域調査、「いなか留学」による地域での経験的な学びを通じて、「地域デビュー」をすることができる。地域公共人材としての力を身につける学びへと誘う。</p> <p>【講義方法】 本科目は、（事前学習）（フィールドワーク）（事後学習）から構成されている。内容は以下の通り。 <事前学習> 京都市、「田舎留学」先の自治体、関係NPO団体、地域の方々を講師とし、地域の現状について学ぶ。 文献調査やデータベース等を活用して、大学のまち京都。伏見区深草、「田舎留学」先自治体における課題を調べる。 ヒアリング調査やアンケート調査を企画・立案する。 情報発信の手法とインターネット・リテラシーを学ぶ。 京都市内をフィールドにした都市型地域体験（京都市伏見区）の「深草・稲荷まちあるき」をおこない、まち歩きや情報発信の基本技法を学ぶ。 <フィールドワーク> 龍谷大学政策学部の企画する「いなか留学」プログラムによる実習を行う。短期間(2泊3日)、「いなか留学」は、その当該地域に滞在し、暮らして仕事を体験することで、いなか（地方）の課題とともに魅力を見つける。 都市型地域体験（京都市伏見区）の「ディスカバー深草」地域調査を行う。 <事後学習> 調査結果及び課題解決策の方向性を成果としてまとめる。 成果を発表する。（プレゼンテーション） 京都市及び関連する自治体、関係NPO団体、地域との意見交換を行う。 フィールドワークを通じて、自らの学びと成長を振り返る。</p> <p>【到達目標】 ・フィールドワークを行う地域に関する基礎知識を身につけることができる。 ・課題発見・解決型学習（PBL）に求められるコミュニケーション力、プロジェクトマネジメント力を習得することができる。 ・学びの成果をプレゼンテーションすることができる。</p> <p>講義スケジュール</p> <p>【第1回】 オリエンテーション（講師紹介、講義概要、到達目標）</p> <p>【第2回、3回】 事前学習（京都府北部地域の現状、実態についての理解） ＊ゲスト講師による講義</p> <p>【第4～9回】 事前学習（情報発信の手法とインターネット・リテラシーを学ぶ、京都市内のフィールドワーク）</p> <p>【第10～25回】 事前学習を含みながら京都市内をフィールドにしたまち歩きや情報発信の基本技法を学ぶ。フィールドワーク（一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構等との協働による「いなか留学」プログラムによる実習）</p> <p>【第26～29回】 事後学習（フィールドワークを踏まえたふりかえり、（フィールドワークの成果について成果報告を行う。また、受け入れ先、関係組織との意見交換を行う）</p> <p>【第30回】全体総括</p> <p>日程については、別途周知。</p>	<table border="1"> <tr> <td>教科書</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>参考書</td> <td> 吉本哲郎 地元学をはじめよう（岩波書店） 茶谷幸治 「まち歩き」をしかける（学芸出版社） 山下祐介 地域学をはじめよう（岩波書店） </td> </tr> </table>	教科書	特になし	参考書	吉本哲郎 地元学をはじめよう（岩波書店） 茶谷幸治 「まち歩き」をしかける（学芸出版社） 山下祐介 地域学をはじめよう（岩波書店）
教科書	特になし				
参考書	吉本哲郎 地元学をはじめよう（岩波書店） 茶谷幸治 「まち歩き」をしかける（学芸出版社） 山下祐介 地域学をはじめよう（岩波書店）				